

高鍋町（宮崎県）

1 提携年月日

昭和 56 年（1981 年）4 月 27 日

2 提携の経過

高鍋町と本市との交流が急速に深まってきたのは、昭和 43 年 5 月、高鍋町長が本市に公式訪問されたときに遡ります。以来、上杉鷹山との縁から市民間の交流が盛んになり、昭和 52 年 6 月には米沢松が岬ライオンズクラブと高鍋ライオンズクラブとの姉妹クラブ提携をはじめ、米沢と高鍋の両信用金庫理事長間で交流が始まり、昭和 54 年 3 月米沢温故会としての交流も開始されました。

また、昭和 54 年 6 月からは高鍋町長、議長などが毎年本市を訪れ、本市からも高鍋町を訪問するなど交流を深めてきました。このような背景の中で高鍋町は本市と姉妹都市提携のための懇話会を開き、昭和 55 年 12 月 9 日に高鍋町議会で提携が可決されました。次いで昭和 56 年 3 月 13 日に本市議会で提携が可決され、本市に高鍋町長、町議会議長らを迎え昭和 56 年 4 月 27 日に調印が行われました。

3 主な交流

まつり開催時等の相互訪問

首長や議長等が姉妹都市間で相互に訪問し、まつりや市内視察を通して、相互の理解を深めるとともに、交流や施策等のための情報交換を行っています。

米沢市・高鍋町青少年交流事業(平成 6 年度より)

冬は高鍋町の小学生が米沢市へ、夏には米沢市の小学生が高鍋町へ隔年ごとに訪問、相互にそれぞれの文化等の理解を深め、交流を深めています。

他の姉妹提携

米沢信用金庫、米沢商工会議所もそれぞれ高鍋の信用金庫、商工会議所と姉妹提携し、相互の交流を深めています。

4 高鍋町の概要（令和 2 年 1 月現在）

庁舎所在地

〒884-8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江 8437 番地

TEL 0983-26-2001（代表） FAX 0983-23-6303

町制施行

明治 34 年 2 月

位置

- ・高鍋町は、九州の東側、宮崎県中央部海岸沿いに位置しています。宮崎平野の北部にあたり、町内全域が沖積平野及び洪積台地で、中央部を一級河川小丸川と宮田川が流れ、周囲

三方を台地に囲まれた地形となっています。海岸部は遠浅の砂浜となっており、アカウミガメ産卵地や天然牡蠣産地、「快」水浴場 100 選の高鍋海水浴場を有しています。

- ・町域は東西 10 キロメートル南北 6 キロメートル、面積 43.80 平方キロメートルで、宮崎県内の自治体としては最も面積が小さく、西は西都市と児湯郡木城町、南は新富町、北は川南町と接しています。
- ・高鍋町内には、宮崎県の大動脈である国道 10 号や JR 日豊本線が通り、町内を起終点とする県道が周辺を結んでいます。さらに東九州自動車道高鍋インターチェンジが平成 22 年 7 月に開通し、県都宮崎市と工業都市延岡市・日向市のほぼ中間という条件を生かしたさらなる発展が期待されます。

人口

20,182 人（男 9,591 人 女 10,591 人）

面積

43.80 平方キロメートル

気候

- ・年間平均気温 約 17℃
- ・年間降水量 2,000 ミリメートル以上
- ・年間日照時間 2,000 時間以上

シンボル等

- ・町の木「もくせい」「タカナベカイドウ」
- ・町の花「なでしこ」

歴史

- ・6 世紀ごろには、多数の古墳が町内各地に造られ、有力な勢力が高鍋周辺に栄えていたと考えられます。現在の高鍋町は、平安時代からおおよそ 600 年の土持氏時代、室町時代からおおよそ 120 年の伊東氏時代、安土桃山時代からおおよそ 10 年の島津氏時代を経て、天正 15 年（1587 年）からの秋月藩主の治世のもと発達してきた城下町で、古くは「財部」と呼ばれていました。特に第 7 代藩主種茂によって創設された藩校明倫堂によって文教の伝統が生まれました。明治時代には、石井十次など世界的な人材を輩出し誇り高い人間性をつくりだしました。
- ・明治 34 年に高鍋村を廃して、県内町村では初の町制を施行。諸官庁の設置と企業の進出により、児湯郡の交通要衝の地となり、しだいに発展し、昭和 13 年に上江村を合併し現在に至っています。

教育

小学校 2、中学校 2、高等学校 2、農業大学校 1、准看護学校 1、職業訓練校 2

特産品

天然カキ、緑茶、キャベツ、白菜、餃子、焼酎

工業

- ・「土壌改良剤」ようりん・ケイカル・ダブリンの製造、農協委託販売
- ・「灌水チューブ」灌水用チューブ、ウルトラドリップの製造・販売
- ・「デジタルカメラ」一眼レフカメラ、ミラーレスカメラ、業務用デジタルビデオカメラ

観光名所等

- ・高鍋城址の舞鶴公園をはじめ、その周辺の歴史総合資料館・家老屋敷・美術館
- ・高鍋湿原（ハッチョウトンボ・サギソウ等）
- ・国の重要文化財の出土した古墳が点在し、その一角に高鍋大師のある持田古墳群

祭り

- ・高鍋城桜まつり（3月下旬～4月上旬）
- ・鵜戸神社夏祭（7月中旬）
- ・立花神社夏祭（7月下旬）
- ・火産霊神社夏祭（7月下旬）
- ・高鍋城灯籠まつり（10月中旬）

出身者名誉町民等

（出身者）

- ・上杉鷹山：第7代藩主種茂の弟・第9代米沢藩主
- ・石井十次：孤児の父と呼ばれ、孤児救済に尽力
- ・小沢治三郎：日本海軍最後の連合艦隊指令長官

（名誉町民）

- ・久保昌業：町長・県議等要職を歴任
- ・原 担：町長・県議・産業組合長等を歴任
- ・柿原政一郎：町長等の要職を歴任、全国社会教育功労賞受賞、私費を投じて図書館を建設寄付
- ・安田尚義：郷土史家、歌人。著書に「秋月種茂と秋月種樹」「上杉鷹山」等
- ・尾崎一男：現高鍋信用金庫の礎を築く。町助役、石井十次顕彰会初代理事長などを歴任。町政の発展に寄与
- ・上條勝久：参議院議員、建設大学校長、全国建設研修センター特別顧問など歴任。町民の安全な暮らしや交通網の発展に寄与

姉妹友好都市など

- ・福岡県朝倉市（旧甘木市）：昭和42年10月1日締結
- ・宮崎県串間市：昭和43年11月21日締結
- ・山形県米沢市：昭和56年4月27日締結